

# 随想

## 沖縄の最大の魅力は「人」

筆者が28年前、ハワイのある高級ホテルで勤めていた時の経験、体験といろんな価値観があるのだと学ばせていただいたいくつかのエピソードを紹介したい。

1人目のお客さまにお部屋を案内し、終わってフロントに戻ったら「部屋に来てほしい」と電話で呼ばれた。部屋に行くとすごいけんまくでゲストが、外に誰かが放り投げた靴が窓から見えることに激怒していた。「こんなものを見るために高額なお金を払ってホテルに泊まりに来

たわけではない。部屋を変えてほしい」

2人目は、当時1泊約30万円するスイートルームに宿泊するあるお客さま。午前2時にフロントに電話してきて「2キロのキヤビアを持ってきて」と注文してきた。厨房はもう開いていないことを伝えると「〇〇ホテルだったらすぐにもってきてもらえらる」と言われてあぜんとした。そして、そのお客さんは1泊約10万円するビーチフロントのお部屋を、ビーチに行ったり来たりするためのトイレ代わりに使っていた。

3人目のお客さまは、1年の半年をクルーズ船に乗り、後の半年は、自宅の住所をホテルに変更してホテル住まいを

していた。どうしてそんなことをするのかと聞いたら「ハワイに別荘などを所有していたら、固定資産税、メンテナンス、またメイドを雇用するなど維持管理費用がかかる。しかし、ホテル住まいなら、費用はかからず、サービスに支払いをすればいいだけだから楽なんだ」。

4人目は、グルメで世界中のおいしい物を食べてきたと豪語するお客さまがいた。「おいしいものを食べてきた中で一番おいしい物は」と聞いたら「アイスクリームだな」との返事で思わず笑ってしまった。「昔話の王子でも、昔はとても食べられない」というアイスクリームの歌を思い出した。

最後に筆者が大好きな故ジョーン・デンバーが宿泊された時は、エレベーターに偶然乗り合わせた新婚のカップルに「Annie's Song」という美しいメロディーの歌を歌ってくれたそうだ。

5人目は、日本の大物政治家の奥さまをお部屋に案内するためにエレベーターと一緒に乗っていたら「私、エレベーターはボタンを押さないと動かないって今まで知らなかったんです」とおっしゃったからびつくりした。

今までもこれからもいろいろな人がいろんな価値観で沖縄にも来てくださる。観光リピーターの方々に沖縄の良さを聞くと「沖縄の人々」と返事がある中で、滞在が思い出深いものになるようにと願う。

(浦添市、保育園園長、61歳)



ウィフィールド  
ひろみ

## 観光地での経験から